

入試対策理科

化学反応式の作り方

化学式を覚えよう

単体

酸素		銀	
水素		銅	
塩素		鉄	
炭素		硫黄	
マグネシウム			

化合物

水		酸化マグネシウム	
二酸化炭素		硫化鉄	
酸化銀		塩化銅	
酸化銅			

言葉を覚えよう

1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学反応	
2種類以上の物質が結びついて、別の新しい物質ができる化学反応	
物質が酸素と化合する化学反応	
酸化物から酸素を取り除く化学反応	

化学反応式の作り方

問題1 水を電気分解すると水素と酸素になる

ステップ1 反応前後の物質の化学式を書きだす	
ステップ2 原子の数があっていないものがあれば、多い方にあうように小さい方に数字をかける	
ステップ3 他の物質も合わせる	

問題2 酸化銀を加熱すると、銀と酸素になる

ステップ1 反応前後の物質の化学式を書きだす	
ステップ2 原子の数があっていないものがあれば、多い方にあうように小さい方に数字をかける	
ステップ3 他の物質も合わせる	

問題3 酸化銅を炭素と混ぜて加熱すると、銅と二酸化炭素ができる

ステップ1 反応前後の物質の化学式を書きだす	
ステップ2 原子の数があっていないものがあれば、多い方にあうように小さい方に数字をかける	
ステップ3 他の物質も合わせる	

問題4 塩化銅を電気分解すると銅と塩素ができる

ステップ1 反応前後の物質の化学式を書きだす	
ステップ2 原子の数があつてないものがあれば、多い方にあうように小さい方に数字をかける	
ステップ3 他の物質も合わせる	

問題4 鉄と硫黄を混ぜて熱すると硫化鉄ができる

ステップ1 反応前後の物質の化学式を書きだす	
ステップ2 原子の数があつてないものがあれば、多い方にあうように小さい方に数字をかける	
ステップ3 他の物質も合わせる	

問題4 銅を加熱すると、酸化銅ができる

ステップ1 反応前後の物質の化学式を書きだす	
ステップ2 原子の数があつてないものがあれば、多い方にあうように小さい方に数字をかける	
ステップ3 他の物質も合わせる	